

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
特別活動の研究 Extra-Curricular Activities		2年	前期	金曜日 4 時限
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択 (教職課程必修(栄養教諭))		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
教職関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
松崎勇人	本館2階研究室	月曜の3から4時限、火曜の3から5時限	授業中に指示します	
授業の概要 特別活動の意義、目標と内容、方法、指導計画の作成と評価法について解説することを通して、今日の学校教育における特別活動の役割の重要性についての理解を深めると同時に、実際に使える技法を身につける。				
授業の到達目標 ①特別活動の意味と教育的意義を理解できるようにする。 ②特別活動の目標と内容を理解できるようにする。 ③特別活動の指導法を理解できるようにする。 ④特別活動の指導計画の作成と評価の仕方を理解できるようにする。				
授業の方法 基本的に板書を中心とした講義形式で行うが、発表・討論等も取り入れて講義を行う。学期末に学級活動の指導案を作りレポートとして提出させる。				
学習の成果 ①特別活動の意味と教育的意義を理解することができる。 ②特別活動の目標と内容を理解することができる。 ③特別活動の指導法を理解することができる。 ④特別活動の指導計画の作成と評価の仕方を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	教育課程と特別活動			
第3回目	特別活動の歴史の変遷(戦前)			
第4回目	特別活動の歴史の変遷(戦後)			
第5回目	学習指導要領における特別活動の改善点			
第6回目	特別活動の目標			

第7回目	学級活動の目標と内容(学級や学校の生活づくり)		
第8回目	学級活動の内容(適応と成長及び健康安全)		
第9回目	学級活動の内容(学業と進路)		
第10回目	生徒会活動の目標と内容		
第11回目	学校行事の目標と内容(儀式的行事等)		
第12回目	学校行事の内容(ボランティア活動等の勤労生産・奉仕的行事)		
第13回目	指導計画の作成と内容の取扱い		
第14回目	特別活動における評価		
第15回目	指導計画案の発表とまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に的確に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		70%	学級活動の指導案を作って提出する。最高水準としては、選択したテーマについて深く考えた上で、評価方法を含む指導計画を綿密に立てていること、オリジナルな発想があること等を評価基準とする。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
なし。適宜自作プリントを配布する。			
履修上の心得・ルール			
休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。積極的に質問することを望む。			